## 別紙様式2

## 訪問看護報告書

利用者氏名		生年月日		年	月	日(	)歳	
要介護認定の 状況	要支	援(1 2)	要介護	(1 2	3	4	5)	
住 所								
訪問日	訪問看護を実 実施した日は	11 12 13 1 18 19 20 2	14 21 28 华療法士、作 〉、特別訪問 緊急時訪問	22 23 29 30 作業療法士 問看護指示 問を行った	書に基づ 場合は×	聴覚士! く訪問詞	3 14 ) 21 <sup>7</sup> 28 こよる <b>香護</b> を	
病状の経過								
看護の内容								
家庭での介護 の状況								
衛生材料等の 使用量および 使用状況	衛生材料等の名称: 使用及び交換頻度: 使用量: (	(				) )		
衛生材料等の 種類・量の変 更	衛生材料等(種類・+ 変更内容	ナイズ・必要量:	等)の変更の	の必要性:	有 ·	無		
特記すべき事項								
作 成 者	氏名:	聑	战 種: 看詞	護師・保健	師			

上記のとおり、指定訪問看護又は看護サービスの提供の実施について報告いたします。

年 月 日

事業所名 管理者氏名

殿

## 訪問看護報告書

利用者氏名	0 0 0 0	生年月日	S. △年	△月	△目(	74 )歳			
要介護認定の 状況	要支	· 援(1 2)	要介護(1	2 3	4	5)			
住 所	××市 ××区	××町 3-2	-1						
訪問日	29 30 31 訪問日を○で 訪問看護を実 実施した日は	11 12 13 18 19 20 25 26 27 囲むこと。理9 施した場合はく △で囲むこと。	14     8       21     15       28     22       29     29       学療法士、作業療法       >、特別訪問看護指       緊急時訪問を行っ	9 10 11 16 17 18 23 24 25 30 31 法士又は言語 言示書に基づ った場合は×	5 6 12 13 19 20 26 27 藤寛士に なく訪問看	14 21 28 よる 護を			
病状の経過	なお、右表は訪問日が2月にわたる場合使用すること。  (主たる傷病名:1型糖尿病、多発性脳梗塞、前立腺肥大症)  KT:36.2℃ P:51/分 BP:120/50mmHg Sp02:98% WT:57.0Kg (前月比:-0.2) 褥瘡なし #1 頭痛などの自覚症状、麻痺の進行など認めず。水分飲水は、お茶・コーヒーにとろみを混ぜ500m1/日経口摂取している。吸引時、白色~淡黄色の喀痰を認めるが、酸素化良好。排便コントロールは、マグラックス1錠×3/日と2回/週の浣腸で2回/週普通便多量に認める。胃ろう挿入部に一部発赤を認めるが疼痛なし。  #2 血糖値が、朝130~242・昼63~228・夕方63~248mg/d1。間食の申告はないが、昼食時にプリンを摂取している。今月4回低血糖が、昼・夕の(血糖値63~86mg/d1)あり、ノボラビットをラコール注入後に注射した(妻)  #3 ホームエクササイズは、下肢筋力強化を主に、実施し始めている。 #4 妻が主介護者であるが、常に見守りが必要な状態で、ストレス度は高い。								
看護の内容	病状の観察、環境整備・ 清潔のケア(入浴介助) ズの確認、疾病・服薬の	、衣生活のケア、	食事や栄養のケア、技	非泄のケア、国					
家庭での介護の状況	妻が1人で介護をしてい話す。	るため、自分の時	<b>時間が得にくく、時に、</b>	家事などにえ	ストレスを原	感じることがあると			
衛生材料等の 使用量および 使用状況	衛生材料等の名称: ( 栄養チューブ、カテーテルチップ50ml ) 使用及び交換頻度: ( 4回/月、4回/月 ) 使用量: ( 4本、4本 )								
衛生材料等の 種類・量の変 更									
特記すべき事項 2回/週、〇曜日、〇曜日訪問									
作成者	氏 名: △△△△	府	戦 種: ○看護師・	· 保健師					
· · /// H	————	117	U III						

上記のとおり、指定訪問看護又は看護サービスの提供の実施について報告いたします。

令和3年 〇 月 〇 日

事業所名 □□訪問看護ステーション 管理者氏名 × × × ×

■ ■ 診療所

● ● ● 先生